

出題の意図

本問題は、本学部のアドミッションポリシーに示している社会科学および自然科学に対する基礎学力、表現力、思考力をはかることを目的としています。本問題のテーマである「わかったつもり」の弊害や深く「わかる」ことは、入学後、学習するうえで、念頭におくべきことがらと考えられます。

このようなことがらに関する論文を読み、いくつかの問題が出されています。具体的には、文章を正しく理解できる読解力、問いを正しく理解し、問いに対する適切な解答を作成する思考力および表現力を試しています。

問1

解答のポイント：抽象度の高い一文を、キーワードを用いて具体的に説明させる問題です。文章を正しく理解し、適切にキーワードを用いながら、解答として表現することが求められています。

問2

解答のポイント：一般的な用語の理解に基づき、本文の例を用いながら指定された字数以内で具体的に説明させる問題です。「適材適所」という用語の正しい理解と、具体例と結びつけて適切に説明することが求められています。

問3

解答のポイント：計算問題です。文意に沿って適切に計算をし、文意をくみ取って空欄に入る正しい数値を導くことが求められています。

問4

解答のポイント：本文に則した整理をした上で、自らの考えを論述する問題です。本文の論旨を正しく理解できているか、またそれを踏まえた勉強に対する姿勢や勉強方法などを提示しているかが求められています。